

**WATAMI**<sup>®</sup>

# ふれあい報告書 2004

ワタミフードサービス株式会社

環境・社会活動報告

地球上で一番たくさんのありがとうを集めるグループになりたい。

## ふれあい報告書発行にあたり

「ふれあい報告書」は、「環境貢献、社会貢献、人間貢献」を目指す私たちの取り組み結果の総括として毎年発行しています。

第4回目の発行となる今回の「ふれあい報告書」では全体の構成を、お客様とのふれあいの場であるお店(店舗)を中心に、店舗以外、そして本部・本社での取り組みという3部に分けてまとめました。

昨年は200通に近いご意見をいただきました。今後も皆様の温かいご理解と貴重なご意見をお待ちしております。

### 対象範囲

ワタミフードサービス(株)の直営店366店舗(「和民」284店、「和み亭」37店、「然の家」12店、「ゴハン」16店、「わたみん家」17店)並びに本社、ワタミ手づくり厨房の2拠点、ワタミエコロジー(株)の環境管理およびワタミグループ全体の社会貢献活動を対象としています。

### 対象期間

2003年度の活動を中心に、ご紹介させていただきます。  
報告期間：2003年4月1日から2004年3月31日  
(一部最新の情報を掲載しております。)

### 編集方針

「ふれあい報告書」は環境省やGRIのガイドラインなどを参照しながらも、あくまで、読み手の方の「知りたいこと」と私たちの「伝えたいこと」を意識して編集しています。

## 目次

ふれあい報告書発行にあたり/目次	1
トップメッセージ	2
ワタミグループってどんな会社? (事業活動)	3
店舗でのふれあい	4
食材編 / 仕入れ・仕込み編	5
店舗スタッフ教育編 / スタンバイ編	7
営業中	9
閉店後	11
トピックス	12
店舗外でのふれあい	14
社会貢献活動(国内)	15
社会貢献活動(海外)	17
環境コミュニケーション	19
本部・本社での取り組み	20
環境マネジメント	21
環境目標	22
環境コストと効果	23
環境教育	24
リスクマネジメント	25
データ集	26
会社概要/環境年表	27
2003年度アンケート結果	28
アンケートのお願い(アンケート用紙)	29
環境・社会活動に対する所感(第三者意見) / 編集後記	30

**トピックス** 詳しくは  P12

**首都圏100店舗でゼロエミッションを達成!!**



ワタミグループの外食店舗

ワタミグループのリサイクルの仕組みづくり支援

ワタミエコロジー(株)

ワタミ手づくり厨房

効率的な食材の供給による環境負荷の低減

ワタミファームで生産される有機野菜

破碎乾燥された元生ゴミ

# 「地球上で一番たくさんのありがとうを集めるグループ」になりたい。



ワタミフードサービス株式会社  
代表取締役社長

渡邊美樹

地球上で一番たくさんのありがとうを集めるグループになりたい

20世紀は、大量生産・大量消費社会による大量採取、大量廃棄の反省のもと、21世紀の私たちが目指す豊かな社会へのキーワードは、「循環」「再生」であると信じています。

私たち、ワタミグループのスローガンは、「地球上で一番たくさんのありがとうを集めるグループになりたい。」というもので、ワタミグループ全社員の思いです。私たちは、売上や利益を求めただけでなく、ただひたすらに、お客様、株主様、従業員、地域の方々、途上国の子どもたちなど、あらゆる人々から「ありがとう」をいただける存在でありたい……。また、人生の目的は「夢」を追うプロセスを通して、人として持って生まれた資質を高めていくことである……と考えています。この思いを、このスローガンに表現しました。

今年、1つの「夢」が形になりました。1999年、ISO14001取得時に発表した「2004年ゼロエミッション(首都圏店舗)」です。現在、ゼロエミッションを達成した100店舗では、ほとんどのゴミが再資源化され、循環の輪が構築されています。これは、店舗で働く、社員、アルバイトメンバーさんが真剣にゴミの分別に取り組んだ結果です。この「ゼロエミッション」の輪を広げながら更に貢献活動を推進していきます。

次なる取組みは、「エネルギーマネジメント」の導入です。この仕組みによって、地球温暖化の原因であるCO<sub>2</sub>を7%削減できる見込みです。これらの取組みを支えるのは、グループ会社のワタミエコロジー(株)です。ワタミエコロジー(株)は、グループの本社・店舗での実績をもとに、グループ内活動にとどまらず様々な企業、施設での環境改善活動のお手伝いをさせていただいています。私たちの活動が、地球環境の改善に少しでもつなげれば大変喜ばしいことです。

2005年4月1日、「ワタミフードサービス(株)」は「ワタミ(株)」に社名変更をし、「外食事業だけの会社」から「外食事業もやっている会社」になります。ワタミの最大の財産である、「思いを共有する人」が最大の差別化となる事業に参入し、「あらゆる場面でありがとう」を集めるグループとなるべく、更なる努力をしまいにいます。



ワタミグループ環境管理責任者  
ワタミエコロジー株式会社  
代表取締役社長

中田安紀

美しい地球を美しいままに

私たちは今年、7月1日にジャパン・リテイル・メンテナンス(株)からワタミエコロジー(株)に社名変更致しました。これは、今までメンテナンスや清掃等と一緒にやってきたリサイクルや省エネ等の環境事業をより積極的に推進していくという決心を含めた社名変更です。メンテナンス事業と環境事業を融合し、外食産業だけではなく、様々な施設を環境側面から管理する「環境改善業」を展開していきます。

地球は今、様々な環境問題を抱えて病んでいる状態です。特に地球温暖化問題はその最たるものと言えます。地球の気温は20世紀の100年間で、0.3 ~ 0.6 上昇。そして21世紀の100年間では1.8 ~ 5.8 上昇、この影響で海面は1m上昇するものと考えられています。ツバル諸島を初めとする南太平洋の島々は、この海面上昇が進行すると海の下に沈んでしまう運命にあり、日本でも砂浜の約90%は消えてしまうという事態に陥ります。また、生態系の破壊や食糧不足という問題を引き起こします。

日本は京都議定書を批准しており、地球温暖化ガスを1990年比で6%削減する義務を負っていますが、現在、外食産業が組み込まれている業務その他部門では地球温暖化ガスは30%以上増加しているのが現状です。このままでは地球温暖化にますます拍車がかかる事となり、京都議定書で交わした国際的な約束を遵守する事が困難な状況にあります。現在、ワタミグループ100店舗(首都圏)での廃棄物ゼロエミッション達成や無駄な使用電力監視システムの導入をはじめ、グループ以外の企業に対しても、ISO14001認証取得コンサルティングや廃棄物のリサイクルに関するシステムづくり、省エネ機器の導入など、様々な施設の環境負荷低減活動を実施しています。

そしてこれらの活動をさらに拡大するとともに、今後開発していく環境対策プランにより、地球温暖化防止に貢献する企業を目指します。

「美しい地球を美しいままに」保ち、現在だけではなく、未来の人達からも、「たくさんのありがとう」をいただけるようになりたいと思っています。

# ワタミグループってどんな会社？

ワタミグループ( 外食事業 )は、個性ある業態で、多様化するお客様ニーズに対応。2008年に1000店舗を目指しています。

ワタミグループ 事業展開 外食、環境、農業、介護、教育の分野でグループ事業が立ち上がっています。

## グループミッション

地球人類の人間性向上のための  
よりよい環境をつくり、よりよいきっかけを提供すること

## 私たちの目指すもの( 経営目的 )

- 1.一人でも多くのお客様にあらゆる出会いと  
ふれあいの場と安らぎの空間を提供すること
- 1.会社の繁栄、社員の幸福、関連会社・取引業者の繁栄、  
新しき文化の創造、人類社会の発展、人類の幸福への貢献



## 地球環境を守る環境改善業

### 「心地よい毎日を支える介護サービス」ワタミメディカルサービス(株)

ワタミエコロジー(株)は、2000年4月、ジャパン・リテイル・メンテナンス(株)としてワタミフードサービス(株)、日本ケンタッキー・フライド・チキン(株)、(株)Eスフードサービスの共同事業(店舗の緊急修理受付・ゴミ処理・清掃)として設立され、2004年7月に現社名に変更しました。

ワタミグループ内では「リサイクル～ゼロエミッション」の完成の要として、店舗のトータル管理システムを開発提案しています。

今後は、これまでに培ってきたメンテナンスや施設管理のノウハウを活かした「店舗施設の環境対応パッケージ」として、外食業界だけでなく、広く学校、病院など他の施設にも展開、地球環境の保全に貢献していきます。

ワタミエコロジー ホームページ <http://www.watami-ecology.co.jp>

### 「安全で安心なおいしい野菜」ワタミファーム



## JAS有機認証を積極的に取得

### 「安全で安心なおいしい野菜」ワタミファーム

2002年4月、ワタミグループ念願の農業進出の第一歩としてワタミファームを設立し、千葉県山武町で第一農場を稼働させました。現在は、山武農場(千葉県山武町)、倉淵農場(群馬県倉淵村)、瀬棚農場(北海道瀬棚町)、白浜農場(千葉県白浜町)とその規模を拡大しています。

2003年11月にはワタミファームと千葉県山武町と共同で「有機農業推進特区」を申請し認可されました。

2004年4月には、瀬棚農場でも農業特区が認可され酪農にも進出、日本初の有機牛乳の生産を目指します。

ワタミファームは、JAS有機認証を積極的に取得し、有機野菜を中心とする「安全で安心なおいしい野菜」をグループ店舗へ供給し、今後外販も展開していく計画です。

ワタミファーム ホームページ <http://www.watamifarm.co.jp>

### 「人材開発・教育事業の企業内大学」ワタミユニバーシティ(株)

2004年4月、介護事業(訪問介護・居宅介護支援)を行うワタミメディカルサービス(株)を設立しました。

今後の計画は、訪問介護・通所介護(デイサービス)の万全なサービス体制を組み込んだ、低価格な「高齢者向け賃貸マンション(2005年度に1号棟予定)」を展開、そこを拠点としての、福祉用具・介護用品の購入・レンタル(販売)のサポートなどの事業を展開します。

### 「花とふれあう生活」グリーンインダストリー(株)

ワタミユニバーシティ(株)は1998年5月、ワタミグループの採用・教育を行う会社として設立された(株)キャリアビジョンを2004年7月に現社名に変更しました。

これを機に、従来の外食事業の採用、教育が中心の活動から、人材開発・教育に関する多岐に亘るサポート業務へと業容をシフト、今後は外食以外のグループ企業にも事業領域を広げていきます。

### 「花とふれあう生活」

### グリーンインダストリー(株)



2000年2月、花卉販売チェーンを運営することを目的に設立、同年4月に1号店「花木」(神奈川県川崎市)を出店(2003年2月より「FLOWER KITCHEN」に改名)しました。新鮮な花をより低価格で提供、気軽に選び、楽しめる「花とふれあう生活」を提案しています。

## 徹底した衛生管理の集中仕込みセンター

### ワタミ手づくり厨房

### 「こだわりの手づくりシステム」ワタミ手づくり厨房

ワタミグループでは、居食屋「和民」オープン当初より、冷凍食品や加工食品を極力使わずに、調理の一手手前まで各店舗で仕込む「こだわりの手づくりのシステム」を開発実現していました。

現在では、このシステムの最大の長所である「手づくり感」を損なわずに調理する考えを活かし2002年3月、集中仕込みセンター「ワタミ手づくり厨房」を埼玉県越谷市に設置し、関東圏の「和民」「和み亭」への仕込み品の供給を始めました。

2003年5月には、神奈川県相模原市に第二センターが稼働し、関西・九州・中京・東海圏も含めてグループ全店に供給しています。

「ワタミ手づくり厨房」では徹底した衛生管理のもと、日々の仕込み作業が行われています。作業の集約によって食材ロスの削減、生産性・衛生の向上、商品の均一化を実現し、グループ店舗のコンセプトである「手づくりを守りながら、安全で安心で、より良い商品を安価に、お客様に提供」する原動力となっています。